

高等教育支援計画（ITセクター）【ベトナム】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 平成 28 年 4 月

1 案件概要	
(1) 供与国名	ベトナム
(2) 案件名	高等教育支援計画（ITセクター）
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	<p>ベトナムのIT分野の先端大学において、モデル教育プログラムを実施し、資機材整備、教員雇用、教員候補の留学を支援すること等により、IT分野の教育水準向上及び人材育成を図り、もってIT技術の進展を通じた産業競争力の強化に寄与するもの。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資機材調達</li> <li>・ ソフトコンポーネント</li> <li>・ コンサルティングサービス</li> </ul> <p>ア 閣議決定日：平成 18 年 3 月 28 日                  イ 供与限度額：54.22 億円                  ウ 金利：1.3%                  エ 償還（据置）期間：30（10）年                  オ 調達条件：一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業計画当初、ベトナムの高等教育の就学率は 15%と周辺諸国に比べても低い水準に留まっていた（2006 年時点）。同国の教育開発戦略計画（2001 年～2010 年）においては、高等教育セクターに関して、科学技術の進歩に対応し実社会の要請に応える研究開発の実施と質の高い人材育成を目標としており、同計画の達成の観点からも、資機材整備、教員雇用、教員候補の留学を支援すること等により、IT分野の教育水準向上及び人材育成が必要であった。現在もベトナムにおけるIT分野の人材に対する需要は高まっており、</p>

	<p>引き続き IT分野の教育水準向上及び人材育成が必要なため、本事業に関する社会的ニーズは変わらない。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状  実施機関による資機材の変更に伴う調達手続の遅れにより、遅延が発生したが、現在、事業は順調に進められている。</p>
<p>(2) 今後の対応方針</p>	<p>本件に関する社会的ニーズに変化は見られず、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれており、事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから、引き続き支援を継続していく。</p>
<p>3 政策評価を行う過程において使用した資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交換公文</li> <li>・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要  (<a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html">http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/data/zyoukyou.html</a>)</li> <li>・ 国際協力機構の案件検索  (<a href="http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php">http://www2.jica.go.jp/ja/yen_loan/index.php</a>)</li> <li>・ 国際協力機構の事業事前評価表  (<a href="http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html">http://www.jica.go.jp/activities/evaluation/before.html</a>)</li> <li>・ そのほか国際協力機構から提出された資料</li> </ul>